

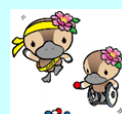
就学前教育スタンダード

「就学前教育スタンダード」とは、小学校以降の学びにつながる「幼児期に必ず体験する内容」を示したものです。

就学前教育スタンダードは、**遊び** や **生活** を通して体験していきます。

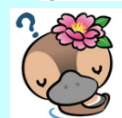
【健康な心と体】

のびのびと体を動かす



【自立心】

自分でよく考える



【協同性】

友達と遊ぶことを楽しむ



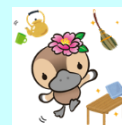
【道徳性・規範意識の芽生え】

相手の気持ちを考える



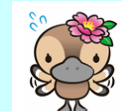
【社会生活との関わり】

「ありがとう」と言われる嬉しさを感じる



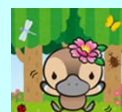
【思考力の芽生え】

十分に試したり工夫したりする



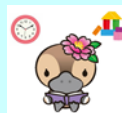
【自然との関わり・生命尊重】

自然にたっぷり触れる



【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】

数や文字などに関心をもつ



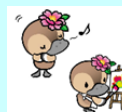
【言葉による伝え合い】

楽しく話したりよく聞いたりする



【豊かな感性と表現】

いろいろな表現を楽しむ



江東区観光キャラクター
コトミちゃん
ヒーロくん
コーちゃん・トーくん

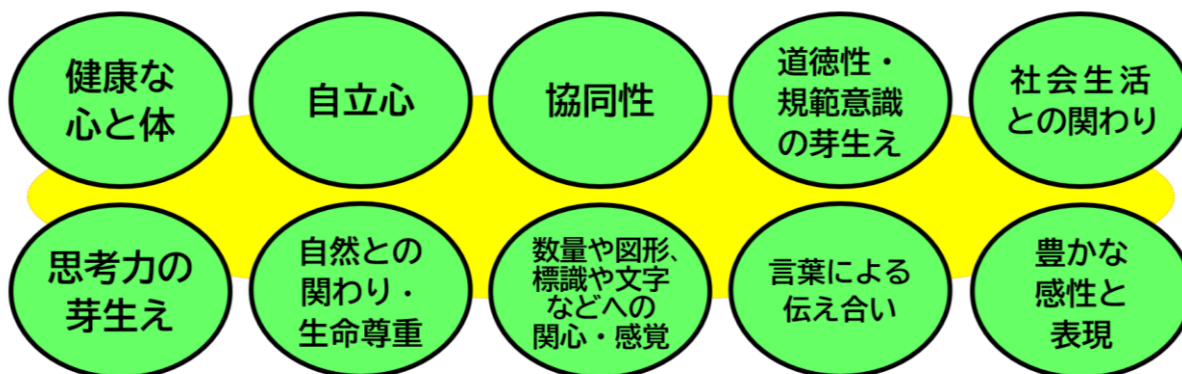
※ 就学前教育スタンダードは、10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点としています。

※ イラストは現時点のものです。今後、変更する可能性があります。

就学前教育スタンダードとは、小学校以降の学びにつながる「幼児期に必ず体験する内容」を示したものです。

- 「就学前教育スタンダード」は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点とします。
- 「就学前教育スタンダード」は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点とした際に、江東区立幼稚園の実態から、3歳児、4歳児、5歳児の保育を見通して、最も重要だと思われる「体験」を、**「幼児期に必ず体験する内容」**として示します。
- 「就学前教育スタンダード」は、江東区立幼稚園の教員が、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮して指導を行う際の基礎・基本とします。
- 「就学前教育スタンダード」に基づいた指導を行うことにより、幼児に、小学校以降の学びにつながる「知識及び技能の基礎」、「思考力・判断力・表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力が育まれるものと考えます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、「幼稚園教育要領」に示されたねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の幼稚園修了時の具体的な姿であり、教師が指導を行う際に考慮するものです。

到達すべき目標ではないことや、個別に取り出されて指導されるものではないこと、全ての幼児に同じように見られるものではないこと、5歳児に突然見られるようになるものではないため、3歳児、4歳児の時期から、幼児が発達していく方向を意識して、それぞれの時期にふさわしい指導を積み重ねていくことなどに留意する必要があります。

参考：「幼稚園教育要領解説」

※ 「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」にも同様の記述があります。

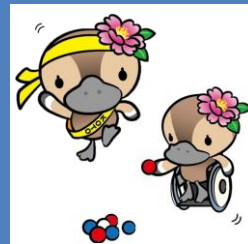
就学前教育スタンダードでは、これらの趣旨を十分に踏まえた上で、幼児期の教育の充実や、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続に資するため、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点とします。

他スタンダードとの主なつながり

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点	就学前教育スタンダード	他スタンダード
健康な心と体	のびのびと体を動かす	学び方スタンダード <input type="checkbox"/> 背筋を伸ばした姿勢で座ります <input type="checkbox"/> 名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします 体力スタンダード ※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、 <u>楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。</u> など
自立心	自分でよく考える	学び方スタンダード <input type="checkbox"/> 授業の始まりの時間を守り、席に着きます <input type="checkbox"/> 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します 国語スタンダード <input type="checkbox"/> 相手や場面を考慮して敬語を使います <input type="checkbox"/> 順序を考慮して相手に伝わるように話します <input type="checkbox"/> 自分と友達の考えを比べながら話し合います など
協同性	友達と遊ぶことを楽しむ	学び方スタンダード <input type="checkbox"/> 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します <input type="checkbox"/> 話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます <input type="checkbox"/> 名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします 国語スタンダード <input type="checkbox"/> 順序を考慮して相手に伝わるように話します <input type="checkbox"/> 自分と友達の考えを比べながら話し合います 英語スタンダード <input type="checkbox"/> 英語で積極的にコミュニケーションをとります <input type="checkbox"/> 英語であいさつや自己紹介をします など
道徳性・規範意識の芽生え	相手の気持ちを考える	国語スタンダード <input type="checkbox"/> 順序を考慮して相手に伝わるように話します <input type="checkbox"/> 自分と友達の考えを比べながら話し合います 英語スタンダード <input type="checkbox"/> 英語で積極的にコミュニケーションをとります <input type="checkbox"/> 英語であいさつや自己紹介をします など
社会生活との関わり	「ありがとう」と言われる嬉しさを感じる	英語スタンダード <input type="checkbox"/> 英語で積極的にコミュニケーションをとります <input type="checkbox"/> 英語であいさつや自己紹介をします など
思考力の芽生え	十分に試したり工夫したりする	体力スタンダード ※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、 <u>楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。</u> 国語スタンダード <input type="checkbox"/> 自分と友達の考えを比べながら話し合います 算数スタンダード (全般) など
自然との関わり・生命尊重	自然にたっぴり触れる	体力スタンダード ※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、 <u>楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。</u> 国語スタンダード <input type="checkbox"/> 季節を感じ、俳句に親しみます 算数スタンダード (全般) など
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	数や文字などに関心をもつ	学び方スタンダード <input type="checkbox"/> 授業の始まりの時間を守り、席に着きます 国語スタンダード <input type="checkbox"/> 読書に親しみ、いろいろな分野の本を読みます 算数スタンダード (全般) など
言葉による伝え合い	楽しく話したりよく聴いたりする	学び方スタンダード <input type="checkbox"/> 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します <input type="checkbox"/> 話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます 国語スタンダード <input type="checkbox"/> 相手や場面を考慮して敬語を使います <input type="checkbox"/> 順序を考慮して相手に伝わるように話します <input type="checkbox"/> 自分と友達の考えを比べながら話し合います など
豊かな感性と表現	いろいろな表現を楽しむ	体力スタンダード ※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、 <u>楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。</u> 国語スタンダード <input type="checkbox"/> 季節を感じ、俳句に親しみます 英語スタンダード <input type="checkbox"/> 英語で積極的にコミュニケーションをとります など

【健康な心と体】

のびのびと体を動かす



「のびのびと体を動かす」とは・・・

- 「のびのびと体を動かす」とは、幼児が心も身体も解放し、元気に体を動かして遊ぶ体験のことです。
運動的な活動に限らず、例えば、ごっこ遊びの中で「大きな積み木を運んで家を作る」場面や、砂場での遊びの中で「穴を掘る」「バケツで水を運んで流す」場面なども、幼児がのびのびと体を動かす体験になると考えます。
- 自ら心を弾ませて、体を動かして遊ぶことが大好きな幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 遊びや生活の中で、十分な運動量を確保していきます。
- 特定の動きを一斉に指導するのではなく、幼児の発達段階や興味・関心に応じて、幼児が遊びの中で、走ったり、跳んだり、投げたり、押したり、引いたり、転がったり・・・するなど、多様な動きを体験できるようにしていきます。
- 幼児がのびのびと体を動かすことができるよう、その素地づくりとして、家庭との連携を大切にしていきます。基本的な生活習慣を身に付けることや、生活のリズムを整えること、幼児の食に対しての興味・関心が増すよう「食育」を推進していくことなどに取り組んでいきます。

他スタンダードとの主なつながり

学び方スタンダード

- 背筋を伸ばした姿勢で座ります
- 名前を呼ばれたら「はい！」と返事をします

体力スタンダード

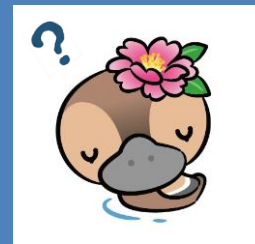
- ※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。

など



【自立心】

自分でよく考える



「自分でよく考える」とは・・・

- 「自分でよく考える」とは、幼児が初めての場面や、困った状況に出会った時など、立ちすくんだり誰かに頼ったりするのではなく、自分なりに考えを巡らせて、じっくり考える体験の事です。
- 自分なりに考えて、自分の力でやってみようとする幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- まずは、「自分の気持ちや考えを素直に出していいのだ」という安心感をもてるようにします。そのため、保育者は、幼児の行動や思いをありのままに受け止め、期待をもって見守りながら、幼児の心の動きに沿って援助していくことを心掛けます。
- また、保育者と一緒に考える体験を保障していきます。幼児にとって、自分の考えや思いが受け止められた喜びを味わいながら、保育者と一緒にじっくり考える時間を過ごすという体験が、次第に、自分で考え、行動しようとする気持ちをもつことにつながっていくと考えます。
- 併せて、友達との関わりを大切にしていきます。遊びや生活の中で友達と関わり、自分とは異なる考えに触れる体験や、自分の考えが受け入れられたり、あるいは受け入れられなかったりする体験が、新たな気づきを生み、自分でよく考えることにつながっていくと考えます。

他スタンダードとの主なつながり

学び方スタンダード

- 授業の始まりの時間を守り、席に着きます
- 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します

国語スタンダード

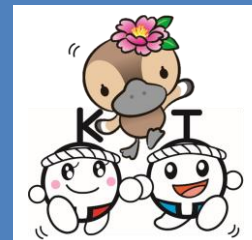
- 相手や場面を考えて敬語を使います
- 順序を考えて相手に伝わるように話します
- 自分と友達の考えを比べながら話し合います

など



【協同性】

友達と遊ぶことを楽しむ



「友達と遊ぶことを楽しむ」とは・・・

- 多くの幼児にとって、園生活は、家庭から離れて同年代の幼児と一緒に過ごす初めての集団生活です。「友達と遊ぶことを楽しむ」とは、他の幼児と同じ場にいることから始まり、一緒に行動すること、互いに思いや考えを出しながら遊ぶこと、面白さや楽しさを共有すること、時には気持ちをぶつけ合い折り合いを付けながら遊ぶこと、共通の目的をもって協力することなどの体験のことです。
- 積極的に人と関わり、一緒に生活することを楽しみ、互いの存在を尊重し合える幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 保育者との信頼関係を基盤に、遊びや生活の中で、様々な友達との関わりを大切にしていきます。友達と思いや考えを伝え合ったり、力を合わせて問題を解決したりすることを通して、人とつながる喜びや、ともに遊ぶ楽しさ、一人では味わえない充実感などを、十分に感じられるようにしていきます。
- また、併せて、その過程で起こる、自己主張のぶつかり合いによる様々な葛藤体験も、幼児期だからこそできる貴重な体験と捉え、保障していきます。

他スタンダードとの主なつながり

学び方スタンダード	<input type="checkbox"/> 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します <input type="checkbox"/> 話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます <input type="checkbox"/> 名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします
国語スタンダード	<input type="checkbox"/> 順序を考えて相手に伝わるように話します <input type="checkbox"/> 自分と友達の考えを比べながら話し合います
英語スタンダード	<input type="checkbox"/> 英語で積極的にコミュニケーションをとります <input type="checkbox"/> 英語であいさつや自己紹介をします

など



【道徳性・規範意識の芽生え】

相手の気持ちを考える



「相手の気持ちを考える」とは・・・

- 「相手の気持ちを考える」とは、友達との様々な関わりの中で、自分にも思いや考えがあるように、相手にも思いや考えがあることに気付く体験のことです。
- 相手の立場に立って物事を考え、相手の思いを察し、思いやりの心をもった幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- まず、自分の思いや考えが他者に受け入れられる体験を重ねていけるようにします。自分が受け入れられていることを実感すると、安心感が生まれ、自己を発揮することができます。自己が発揮できていることは、周りの環境や人に関心をもつようになるためには不可欠です。人に関心を寄せ、相手の立場に立って物事を考えられるようになるための素地づくりをしていきます。
- 友達との関わりが深まってくると、互いに思いを主張し合う場面が増えてきます。そのような状況も、相手の気持ちを考えるようになるための成長の過程と捉え、自分の思いを出しつつ、相手の気持ちも察して、少しずつ、折り合いを付けながら遊ぶ体験を重ねることができるよう援助していきます。

他スタンダードとの主なつながり

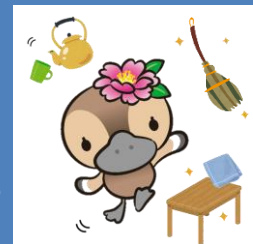
学び方スタンダード	<input type="checkbox"/> 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します <input type="checkbox"/> 話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます <input type="checkbox"/> 名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします
国語スタンダード	<input type="checkbox"/> 順序を考えて相手に伝わるように話します <input type="checkbox"/> 自分と友達の考えを比べながら話し合います
英語スタンダード	<input type="checkbox"/> 英語で積極的にコミュニケーションをとります <input type="checkbox"/> 英語であいさつや自己紹介をします

など



【社会生活との関わり】

「ありがとう」と言われる嬉しさを感じる



『ありがとう』と言われる嬉しさを感じる』とは・・・

- 「『ありがとう』と言われる嬉しさを感じる」とは、自分がしたことで、相手が笑顔になったり、相手から「ありがとう」という言葉を掛けられたりすることを通して、人の役に立つ喜びを感じる体験のことです。
- 人の役に立つ喜びを感じる幼児を育てていくとともに、自分という存在がいいものだと感じる原体験を重ね、幼児の自己肯定感を高めていきたいと考えます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 様々な人との関わりを保障していきます。人と人の関わりは、それぞれの置かれた立場や、関係性により、様々な状況を生み出し、その意味は異なってきます。同学年の幼児との関わり、自分より年少の幼児との関わり、地域の方との関わり、高齢者との関わり、外国籍の方との関わりなどの中で、相手が笑顔になったり、「ありがとう」「今日は楽しかったよ」といった言葉を掛けられたりすることで、幼児であっても「自分にも人のためにできることがある」という思いを感じるはずで、将来のボランティア精神の基盤にもつながる、人の役に立つ喜びを幼児期に体験することができるよう、他者の役に立っているという満足感を得られるようにしていきます。

他スタンダードとの主なつながり

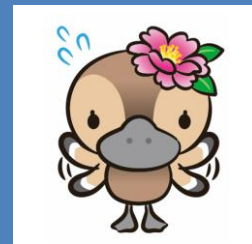
学び方スタンダード	<input type="checkbox"/> 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します <input type="checkbox"/> 話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます <input type="checkbox"/> 名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします
国語スタンダード	<input type="checkbox"/> 順序を考えて相手に伝わるように話します <input type="checkbox"/> 自分と友達の考えを比べながら話し合います
英語スタンダード	<input type="checkbox"/> 英語で積極的にコミュニケーションをとります <input type="checkbox"/> 英語であいさつや自己紹介をします

など



【思考力の芽生え】

十分に試したり工夫したりする



「十分に試したり工夫したりする」とは・・・

- 「十分に試したり工夫したりする」とは、様々な物や事象に自ら関わり、物の性質や仕組みなどに興味をもったり、不思議さや面白さを感じたり、自分なりの「こうしてみたい」という思いや「こうなのでは」という予測をもつなどしながら、じっくり遊ぶ体験のことです。
- 好奇心や、探究心が旺盛であるとともに、失敗しても、もう一度挑戦したり、じっくり考え直して違う方法で取り組んだりする諦めない気持ちや、粘り強さをもった幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 幼児が、心と体を働かせて、物や事象とじっくり関わるのが大切だと考えます。就学前教育スタンダードでは、幼児が、手で触ったり、全身で感じたり、自分なりに比べたり、これまでの体験と関連付けてみたりする営みを、十分に保障していきます。そのことが、その幼児なりの気づきを深めていくことにつながると考えます。
- 時には、大人には単調な繰り返しに見えることが、幼児にとっては、重要な意味をもっていることもあります。幼児の心の動きをつぶさに見つめ、一人一人の幼児の、物や事象との関わりの意味を理解し、必要な援助をしていきます。

他スタンダードとの主なつながり

体力スタンダード	※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、 <u>楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。</u>
国語スタンダード	□ 自分と友達の考えを比べながら話し合います
算数スタンダード	(全般)

など



【自然との関わり・生命尊重】

自然にたっぷり触れる



「自然にたっぷり触れる」とは・・・

- 「自然にたっぷり触れる」とは、身近な自然にたくさん触れて、全身で自然を感じ取る体験のことです。時代の流れに伴い、幼児が十分に自然に触れる機会や場は、少なくなる一方です。せめて園生活の中では、そのような機会を数多くつくりたいと考えます。
- 自然の美しさに触れて感動したり、愛情や畏敬の念を抱いたり、季節や状態の変化を感じ取ったり、不思議さや疑問を抱いたりする幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 幼児の自然との関わりが豊かな直接体験となるよう、園内の自然環境を整備したり、地域の自然に触れる機会をつくったりします。
- 幼児は日常の何気ない生活場面で、自然に触れ、心を揺り動かしています。そのような場面は、必ずしも大人と同じではありません。その幼児なりの自然との出会い、関わりを見逃さないようにしていきます。
- 自然に触れ、感動したり、気付いたり、季節による変化を感じ取ったりする体験は、自然に対する畏敬の念、親しみ、愛情などを育てるばかりでなく、科学的あるいは数学的な見方や考え方の芽生えを培う基礎となるものです。その原体験となる場面を多く生み出せるよう、環境の構成を工夫したり、援助したりしていきます。

他スタンダードとの主なつながり

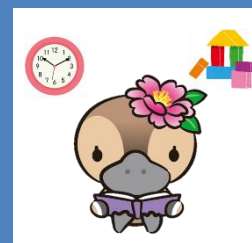
体力スタンダード	※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、 <u>楽しく運動に取り組みながら</u> 、身に付けます。
国語スタンダード	□ 季節を感じ、俳句に親しみます
算数スタンダード	(全般)

など



【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】

数や文字などに関心をもつ



「数や文字などに関心をもつ」とは・・・

- 「数や文字などに関心をもつ」とは、遊びや生活の中で、自然に、数や文字などに触れ、その便利さや意味、特徴などに気付く体験のことです。数や文字を教えるのではなく、例えば、空き箱や積み木、ボールなどの立体に触れる遊び、チームの人数や陣地の広さを同じにする必要がある鬼遊び、絵本や、保育室内の表示、マークなど、園生活の様々な場面で、その機会を生み出すことができると考えます。
- 幼児の数や文字などへの興味や関心を広げ、数量や文字などに関わる感覚を豊かにしていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 数量や図形などについては、例えば、欠席した友達の人数を数えたり、どちらの砂山が高いか比べてみたり、園庭に落ちている花びらや葉の形に注目したりなど、幼児の必要感や興味、関心から出発する営みを大切にしていきます。数量や図形などに親しむ体験を多様に重ねていけるようにします。
- 標識や文字などについては、自分が普段話している言葉がある特定のマークや文字などに対応していることを知る驚きや喜びなどに共感しながら、生活を豊かにしたり便利にしたりする、コミュニケーションの手段の一つであることを感じ取れるようにしていきます。
- 数を確実に数えられたり、文字を正確に読めたり書けたりする習熟の指導に努めるのではなく、幼児の数や文字などへの興味や関心を広げ、数量や文字などに関わる感覚を豊かにできるよう、環境の構成を工夫したり、援助をしたりしていきます。

他スタンダードとの主なつながり

学び方スタンダード	<input type="checkbox"/> 授業の始まりの時間を守り、席に着きます
国語スタンダード	<input type="checkbox"/> 読書に親しみ、いろいろな分野の本を読みます
算数スタンダード	(全般)

など



【言葉による伝え合い】

楽しく話したりよく聴いたりする



「楽しく話したりよく聴いたりする」とは・・・

○ 「楽しく話す」とは、初めての集団生活の中で、保育者や友達に、「ねえ、ねえ、あのね!」と、自分が思っていることや感じたことを言葉で伝える楽しさを味わう体験のことです。

「よく聴く」とは、自分の話を聴いてもらう体験を重ねながら、少しずつ保育者や友達と心を通わせるようになり、相手の話を、関心をもって聴く体験のことです。

○ 言葉による伝え合いを楽しみながら、次第に、相手や状況に応じて言葉や表現を変えて分かりやすく伝えたり、相手の話を注意して聴く幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

○ 言葉だけでなく、表情や動作などを交えて精一杯伝えようとするその幼児なりの表現を受け止め、理解しようと努めます。

○ 幼児が自分一人では表現しきれない事柄を保育者が的確な言葉で代弁したり、友達が発言する様子に注目できるよう援助したりすることで、少しずつ、新しい言葉や表現の仕方を学んでいけるようにします。

○ また、自分の話を保育者や友達に受け止めてもらうことで、少しずつ、友達の話にも関心を寄せ、楽しく遊ぶ体験を重ねられるようにしていきます。そうすることが、友達の思いに共感したり、自分のこととして受け止めたりするなど、人の話をよく聴くことにつながると考えます。さらに、学級全体で集まり、絵本を見たり、保育者の話を聴いたりなど、みんなで一緒に話を聴く体験も重視していきます。

他スタンダードとの主なつながり

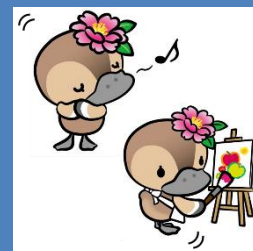
- | | |
|-----------|--|
| 学び方スタンダード | <input type="checkbox"/> 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します |
| | <input type="checkbox"/> 話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます |
| 国語スタンダード | <input type="checkbox"/> 相手や場面を考えて敬語を使います |
| | <input type="checkbox"/> 順序を考えて相手に伝わるように話します |
| | <input type="checkbox"/> 自分と友達の考えを比べながら話し合います |

など



【豊かな感性と表現】

いろいろな表現を楽しむ



「いろいろな表現を楽しむ」とは・・・

- ここで言う「いろいろ」には、大きく2つの視点があります。
- 1つは、表現の方法、手法などです。ひとくちに「表現」と言っても、様々な表現があります。歌、言葉を用いた表現、楽器を使った表現、身体を使った表現、絵画的な表現、それらの複合的な表現、あるいはジャンル分けできない幼児ならではの名前の付けようがない表現など・・・。歌や言葉を用いた表現は、外国語でも楽しめるでしょう。幼児には、様々な表現の方法、手法に出会ってほしいと考えます。
- もう1つは、その幼児なりの表現を大事にしたいということです。幼児の表現は、実に素朴で、自由です。まさに「いろいろ」です。表現の方法や過程、作品は一様ではなく、一人一人異なります。幼児には、伸びやかに想像を膨らませ、表現する過程を十分に楽しみ、その世界に浸る体験をたくさんしてほしいと考えます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 知らないことには表現のしようがないこともあります。就学前教育スタンダードでは、様々な表現方法、手法に出会える機会を十分に保障したいと考えています。
- 就学前教育スタンダードでは、幼児が「表現したい」と思う原動力となる感動体験を数多く創出できるようにしていきます。
- その幼児なりの表現を引き出し、尊重し、幼児が「表現したい」と思うことが、楽しみながら実現できるような過程に価値をおき、援助していきます。

他スタンダードとの主なつながり

体力スタンダード	※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、 <u>楽しく運動に取り組みながら</u> 、身に付けます。
国語スタンダード	<input type="checkbox"/> 季節を感じ、俳句に親しみます
英語スタンダード	<input type="checkbox"/> 英語で積極的にコミュニケーションをとります など



<参考資料>

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

(1) 健康な心と体	幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
(2) 自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。
(3) 協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。
(4) 道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。 また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。
(5) 社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。
(6) 思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。
(7) 自然との関わり・生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。
(8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。
(9) 言葉による伝え合い	先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。
(10) 豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。